

ふれあい

編集発行
社会福祉法人 京極町社会福祉協議会
〒044-0121北海道虻田郡京極町字三崎68番地
TEL(0136)42-3681 FAX(0136)41-2031
Eメールアドレス
kyogoku-fukushi@blue.ocn.ne.jp
ホームページアドレス
<http://www.shakyo.or.jp/hp/63/>

この広報は赤い羽根共同募金の助成金で印刷されています。

京極町社会福祉協議会理念

1. 私たちは、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう最善をつくします。
2. 私たちは、福祉活動に参加する住民主体による福祉コミュニティづくりをめざします。
3. 私たちは、自らの組織や事業に関する説明責任を果たし、信頼され開かれた社協づくりをすすめます。

訪問介護事業所
居宅介護支援事業所



地域福祉総務
生活サポートセンター



地域包括支援センター



介護予防センター



デイサービスセンター



社会福祉法人京極町社会福祉協議会

平成三十年度 基本方針

高齢者の増加にともない介護保険等の制度では対応できない生活支援ニーズや孤立、生活困窮を背景とした深刻な生活課題が広がっています。その対応策として「介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)」と「生活支援体制整備事業(以下、整備事業)」が設けられ、それらの事業を展開して1年が経過しました。取り組みの当初は戸惑いもありましたが、それぞれの事業の目指す目標が見えてきました。同時に、「住民主体の地域づくり」という大きな課題の難しさを実感し、社協の本来のあり方が問われる課題でもあります。住民の力を信じて、まちの人とともにこの事業を押し進める努力が求められています。

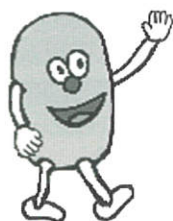
昨年4月に共生型地域福祉拠点「きょうごく」が開設され、多くの住民が集える場になりました。2年目の今年は、住民のボランティア意識を醸成して住民自身が運営する団体の育成をめざしながら、誰でもが集える「コミュニティカフェ」と住民同士が互いに支え合う「支え合いステーション」などの事業を展開します。住民の自主運営団体の育成は整備事業の資源開発であり、整備事業の一環になると考えます。

今年度は、第5期地域福祉実践計画を検証し、これから5年間の第6期地域福祉実践計画を策

定することになります。基本的な考えとしては、地域を基盤とするソーシャルワークの展開であり、京極町の地域福祉計画と連動しながら、住民と共に協働した策定を行い、計画的な地域福祉活動を推進します。

社会福祉法の改正により社会福祉法人の改革が行われ、社協においても理事、評議員、監事の役割が明確にされ、理事会が計画を立て、監事がチェックし、評議員が評価をする体制づくりが平成29年度より行われました。今年度はこの体制がより一層の実質的な機能を持つことが重要です。

高齢者人口がピークとなる2025年まで後7年であり、その間に介護保険サービスで補うことができない生活支援サービス(見守り、外出支援、掃除など)を「おたがいさま」の気持ちの住民同士で支え合う地域づくりが求められています。社協としては地域の皆さんと共に考え、共に歩み続けたいと思います。



平成30年度収支予算

【支出の部】

科 目	予算額(円)
人件費	128,226,000
事業費	8,695,000
事務費	30,810,000
貸付事業支出	800,000
共同募金配分金事業費	2,157,000
助成金支出	80,000
負担金支出	214,000
ファイナンスリース債務の返済支出	690,000
積立資産支出	6,593,000
事業区分間繰入	1,595,000
予備費	50,000
支出合計	179,910,000

【収入の部】

科 目	予算額(円)
会費収入	1,300,000
寄付金収入	1,050,000
補助金収入	37,404,000
受託金収入	91,093,000
事業収入	2,225,000
貸付事業等収入	700,000
介護保険収入	41,362,000
受取利息配当金収入	25,000
積立預金取崩収入	3,090,000
事業区分間繰入	1,661,000
収入合計	179,910,000

京極町生活サポートセンター

平成29年度事業報告と平成30年度事業計画を、今回は3大ニュースとして報告させていただきます。

① 広域実施活動を無事に終了！

平成29年10月に開所した「京極町生活サポートセンター」。3年間、羊蹄山麓と黒松内町の8か町村を支援エリアとして相談支援やケース会議への出席、成年後見人受任などの活動をしてきました。新たな協定に基づき各町村と協働して権利擁護活動を推進していきます。

<平成30年度事業目標>

- 新たな広域権利擁護支援体制の構築
中核機関の立ち上げ支援、権利擁護体制構築に関する羊蹄山麓町村への情報提供、広域連携の維持。

② 市民後見人養成研修修了者から初選任

平成24年度、25年度にわたり北海道が養成した市民後見人。裁判所から羊蹄山麓においては初の選任を受けました。次年度以降は市民後見人が安心して活動していくためのバックアップ体制の強化が求められます。

<平成30年度事業目標>

- 市民後見人活動支援体制の構築。

③ 成年後見人などの受任件数増加と相談の多様化

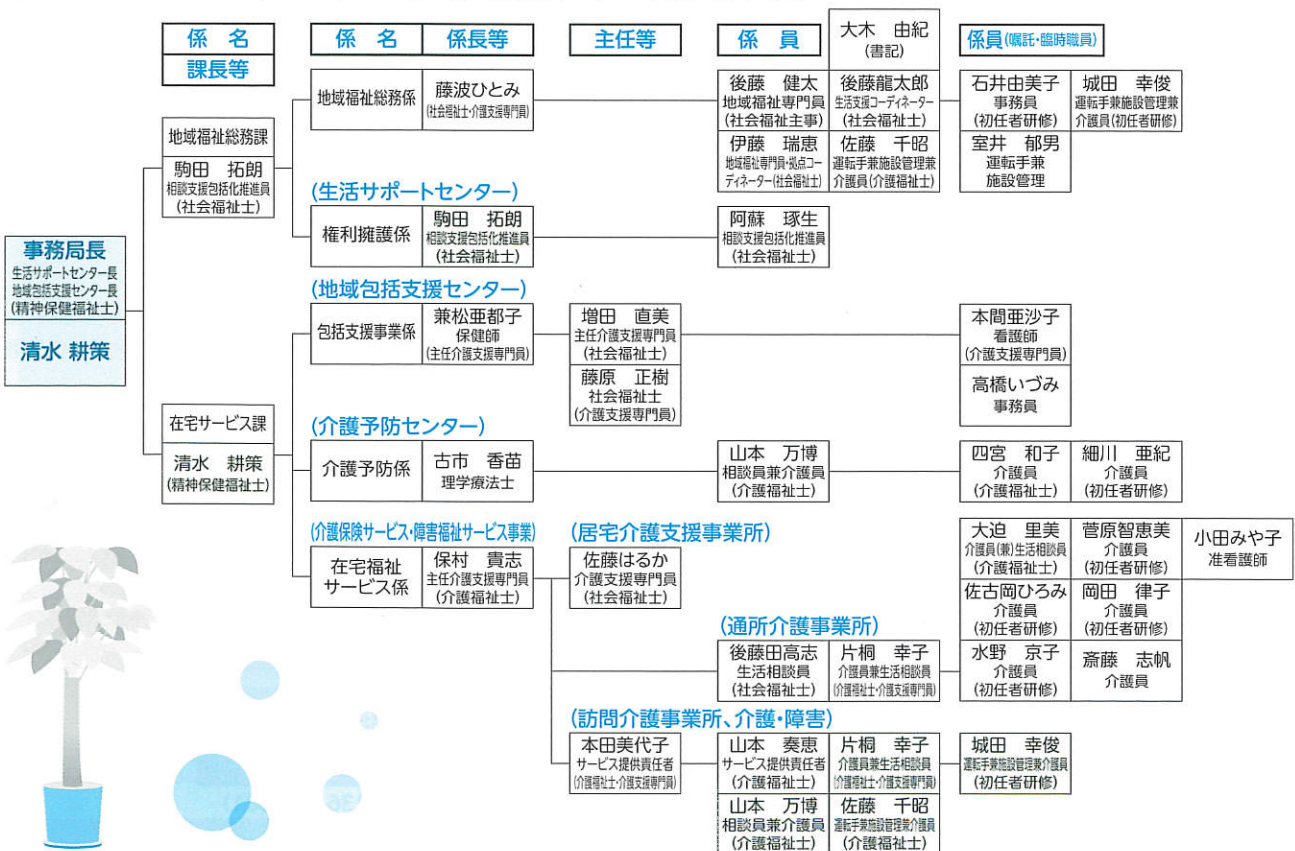
平成29年度のみで4件の受任がありました(累計8件)。未相続遺産や不動産処分、長期入院者の隊員に向けた支援、生活困窮、債務整理、就労問題など多様な相談をお受けしました。住民一人一人の支援が確実にできるよう、相談支援の質向上と多職種との連携、チーム構築が求められる1年となりました。

<平成30年度事業目標>

- 多様な相談への対応力強化
8,050世帯や複雑で困難な困りごとを抱えている世帯への相談力向上とネットワーク形成に取り組みます。

平成30年度京極町社会福祉協議会 職員体制

平成30年7月1日



平成29年度 決算報告

【貸借対照表】

(平成30年3月31日現在)

【資金収支決算】

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	12,653,750	流動負債	11,685,664
現金	23,200	未払金	7,579,802
預貯金	5,808,888	1年以内返済予定	49,131
未収金	6,821,662	預り金	2,678,170
前払金	0	仮受金	1,378,561
仮払金	0		
固定資産	92,514,145	固定負債	39,872,217
基本財産	1,591,613	リース債務	
定期預金	1,591,613	退職給付引当金	39,872,217
その他の固定資産	90,922,532		
土地	3,000,000		
建物	14,899,847		
機械及び装置	2		
車輛運搬具	3		
器具及び備品	1,232,405		
無形リース資産	56,001		
退職給付引当資産	40,268,710		
その他の積立金	31,465,564		
福祉基金	2,703,230		
愛情資金積立金	6,640,682		
奨学基金積立金	10,329,452		
未来へつなぐ夢基金	10,693,039		
愛情資金貸付金	1,099,161		
資産の部合計	105,167,895	負債及び純資産の部合計	105,167,895

(単位:円)

収入の部	決算額
会費収入	1,150,500
寄付金収入	12,443,371
補助金収入	36,033,693
受託金収入	86,878,939
貸付事業等収入	190,000
事業収入	2,075,618
介護保険収入	42,139,038
受取利息配当金収入	1,217
積立資産取崩収入	7,279,070
その他の活動による収入	46,368
施設整備等補助金収入	
前期末支払資金残高	1,131,938
収入合計①	189,369,752

支出の部	決算額
人件費支出	123,273,680
事業費支出	11,285,681
事務費支出	28,595,773
貸付事業支出	150,000
共同募金配分金事業費	2,073,545
助成金支出	70,000
負担金支出	247,000
支払利息支出	
固定資産取得支出	4,815,720
ファイナンス・リース債務の返済支出	709,632
積立預金積立支出	17,131,504
支出合計②	188,352,535
繰越金① - ②	1,017,217

(単位:円)

29年度賛助・一般会員報告

【期間:平成29年4月～平成30年3月】

今年度も町民の皆様の温かい御厚志に対して厚くお礼申し上げます。ボランティア・市民活動、小地域活動などの事業や、在宅福祉サービス事業などへ活用します。

◎一般会費【町内世帯】 計1,143戸

◎賛助会員【個人】

※敬称略

松長 正憲	船場 実	大清水昭子	夢田 英利	鳩沢 秀子	藤沢 玲子	大場美智子	立川 勝雄
西方 清徳	阿部 鋭右	長谷川 敦	笹原 満雄	古館 祐子	池元 豊	山田 雅	菊地 憲一
堅田 光良	竹浪クニ子	渡部 安夫	佐藤 恭子	坂本 秋広	柴山 悟	佐藤 明	桜 貢
有末 義美	安藤 博	中村 恒男	堅田英美子	辻 征二	末吉 光恵	柳原 保	佐藤 絹子
片田 幸夫	中村美智子	富成 邦彦	小林 一男	横川 広	長壁千代子	篠原 政彦	※他匿名者多数

◎賛助会員【法人・団体】

※敬称略

JAようてい京極支所	有限会社 赤木農産	菊地歯科医院	宗教法人 龍門寺	役場課長親睦会
株式会社 京極産業	株式会社 中村組	(有)ミートショップ あんぽ	宗教法人 瑞法寺	有限会社 鎌田商店
株式会社 桜組	京極町商工会	京極町羊峰会	(有)ヤマトモリ	有限会社 京極石油
株式会社 鈴木商事	ようてい森林組合	有限会社 藤沢デンキ	有限会社 マルダイ大木金物	久保砕石工業株式会社
株式会社 高瀬製作所	川崎建設株式会社	宗教法人 北神分教会	有限会社 古屋建設	樋口電気工業 株式会社
株式会社 道南富士コン	菊地建設鋳業株式会社	宗教法人 光寿寺	北海信用金庫京極支店	養護老人ホーム慶和園
株式会社 富成商店	京極建設株式会社	宗教法人 広徳寺	株式会社 羊蹄清掃社	ユニットケア慶和園

計35件

京極町社協の活動を応援してください (賛助会員の募集)

京極町社会福祉協議会では、活動に協力していただける賛助会員を募集しています。みなさまからいただいた賛助会費は、京極町の福祉サービスを推進する貴重な財源として、様々な事業に役立てています。京極町社協の活動に賛同いただける方につきましては、ぜひともご協力をよろしくお願い致します。

会費 一口 1,000円

問い合わせ先 (0136-42-3681)
京極町社会福祉協議会事務局 担当 藤波

訪問介護事業所

平成29年度の事業報告

【29年度利用状況報告】

●訪問介護事業所では要介護者(1~5)37名の方にサービスを提供し、延べ288名の方が利用されました(新規利用者10名、サービス終了者9名)。入院から在宅にもどらず施設入所になり、家族がいても介護が大変になると在宅サービスだけでは24時間の介護は難しく施設入所となるケースが増えています。

●サービス内容

サービス内容	年間 実人数	サービス 延べ回数
身体介護(通院・買い物・銀行等の付き添い・見守り調理)	37名	707回
生活援助(買い物代行・調理・掃除)	5名	256回
通院乗降介助(車の乗り降りに介助が必要な方)	6名	313回

●障がい福祉サービスと介護予防・日常生活支援総合事業(要支援1・2)の利用実績はないが、今後も必要時に利用できる体制を整え他機関と連携を図っていきます。



平成30年度の事業計画

1. 介護保険事業及び障がい福祉サービス事業への取り組みを強化し、利用者が居宅にて自立した日常生活を営めるよう、サービスの安定的な提供と各関係機関の連携強化を図る。

(1) 指定訪問介護サービスの提供

- ①ケアプランに基づき介護計画の作成、利用者の心身の状況把握と生活維持の適切なサービスの提供。
- ②自立支援を目標にサービス手順の作成、ヘルパー間で情報共有と統一したサービス提供。
- ③祝日や大型連休の際は必要時臨時営業を行い、在宅生活を支援する。

(2) 指定障がい福祉サービスの提供

可能な限り在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、意思・人権を尊重し支援する。

(3) 社会福祉協議会内の他事業所・行政・医療関係者との情報共有・情報交換・連携を図る。

2. 訪問介護に関する研修の充実を図り、専門性の高いサービスの向上を目指す。

- ①外部の各種研修会に参加し、専門の知識・技術の向上に努める。
- ②社会福祉協議会内の職員研修に積極的に参加し、事業所内の勉強会を月1回行う。

京極町地域包括支援センター 平成30年度事業計画

包括的支援事業を通じて、 医療・介護・予防・生活支援の各分野と協同し、 地域包括ケアシステムを構築していきます

『地域包括ケアシステム』とは、『高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活を可能な限り継続できる体制』のことです。



NPO・老人クラブ・ボランティアなど

地域包括ケアシステムのイメージ図



地域ケア会議の構造

1. 地域ケア会議をより一層充実していきます。

- ①地域ケア個別会議によるケアマネ支援の充実、地域課題の発見、地域とのネットワーク構築を図っていきます。
- ②自立支援型地域ケア個別会議を町と共に定期開催し、関係者のスキルアップとサービスの質の向上を図ります。
- ③京極町保健医療福祉介護連携協議会の有する5つの機能を充実させるため、町と共に地域ケア推進会議、管理者会議の機能向上をめざします。

2. 支えあい本部、総合事業を通じた地域づくりに積極的に参画します。

- ①生活支援コーディネーター、拠点コーディネーターに協力し、生活支援サービスの開発、共生型地域福祉拠点の機能の充実を図ります。
- ②介護予防センターと共に、住民の主体的な介護予防の取り組みを促進します。

3. 認知症にやさしいまちづくりを推進していきます。

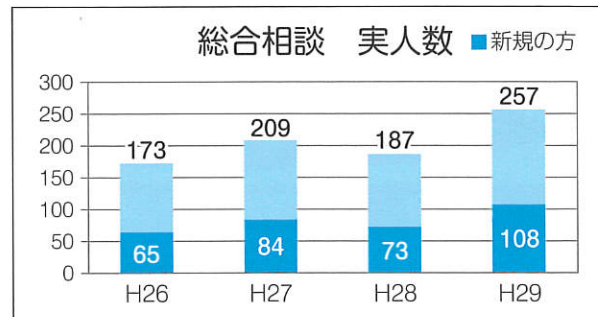
- ①認知症サポーター養成講座を活発に開催し、認知症の啓発を図ります。(目標100名養成)
- ②どんぐりカフェ(認知症カフェ)で介護者同士の交流と、認知症の方の社会参加を図ります。
- ③模擬訓練の定期開催、個人協力者の登録(目標100名)など、あんしんネットワークの体制整備を行います。
- ④認知症初期集中支援チームの一員として、初期集中支援を行います。

京極町地域包括支援センター 平成29年度事業報告

～昨年度の主な活動～

1. 高齢者の主な相談状況(相談件数の多い順)

- ①認知症に関すること
 - ②介護保険に関すること
 - ③医療に関すること
 - ④総合事業に関すること
- ※65歳以上1,063名の24.2%の方に対応



2. 認知症関連

- ・認知症に関する相談 12名対応
- ・認知症サポーター養成講座6回開催(81名養成)サポーター実409名・町民の17.9%に
- ・あんしんネットワーク模擬訓練 2回開催(メール伝達訓練・検索訓練)
- ・どんぐりカフェ(認知症カフェ)毎月1回開催中

3. そのほか

- ・地域ケア個別会議 11名の方について全17回 開催
取り組みにつながった地域課題)平成30年度、見守りの必要な高齢者を町内会など地区単位で支えていけるように、個人情報取り扱いに関する町独自のルール作りを行います。
- ・地域包括ケア勉強会 2回開催 計138名参加(7月20日60名・11月21日78名)
- ・虐待対応関連会議 7名の方について全23回 開催
種別)身体的虐待1件・心理的虐待1件・経済的虐待1件・放任1件・非虐待と判断1件
判断つかず2件

居宅介護支援事業所



平成29年度

- 1 本人、ご家族が自宅での支援を希望される方のケアマネジメントの実施。
- 2 関係事業所との連携を図り、地域包括ケア推進のために協力できることを行う。

1について 地域包括ケアの推進に伴って京極町内で生活を希望される方々の支援については、継続して実施することができている。本年度は昨年度に比べて施設入所のケースが多い年度となっている。在宅サービスを利用しながら施設入所をされたケースは4件となっているが、医療機関を経由して入所されたケースについては5件となっている。医療機関に入院後自宅に戻ることができなくなりそのまま、他医療機関、施設への入所となるケースが多くなっている。また、世帯状況では1人暮らしの高齢者が昨年度から比べると半分程度になっており、年齢とともに自宅での1人暮らしが難しくなっていることになっている。

2について 町内の事業所との連携については2週/1回のケアマネ会議、地域ケア会議などに参加し情報交換を行っている。また、昨年は包括支援センター主催の地域ケア個別会議の開催を行っていただき、地域課題の発掘、住民の皆さんとの共通理解などにより地域課題の共通認識、解決に向けた対策を行っている。

平成30年度の目標

- 1 在宅生活を希望される方の支援の実施。
- 2 関係事業所との連携を図り、地域包括ケア推進のために居宅介護支援事業所として協力できる体制づくりを行う。
- 3 介護保険事業所としての収益性確保を行い、事業所としての独立した採算性を意識する。

デイサービスだより

平成29年度事業報告

平成29年度利用状況報告

項目	29年度延人数	28年度	前年比
要介護1～5	3,515人	3,499人	+16人
要支援1～2	485人	657人	-172人
合計	4,000人	4,156人	-153人
稼働日数	244日	255日	-11日
1日平均	16人	16人	±0人



【平成29年度新規利用者・終了者】

新規利用者

項目	29年度	28年度	前年比
要介護者	10名	9名	+1名
要支援者	1名	2名	-1名
合計	11名	11名	±0名

利用終了・休止

項目	29年度	28年度	前年比
合計	11名	15名	-4名

平成29年度は前年度と比較し約4%の利用減となりました。(28年度は約10%の利用減)

新規での利用については、介護度の高い方(要介護3以上)や難病・認知症といった疾病を抱える方が例年より目立っています。

すでに新聞などで報道されているとおり、平成30年は介護保険法の報酬改定が行われ、適正な介護の評価など新たな試みが始まっています。

当事業所はこれからも町の皆さまにとって「わかりやすい」「通う意義のある」デイサービスを目指し、支援のお手伝いをさせていただきます。

平成30年度事業計画

1. 利用者の人格及び人権を尊重し、利用者及び家族のニーズに応じて利用者個々に合わせた個別プログラムを実施する
2. 在宅生活の維持を支援できるよう、個々の状態に合わせたサービスの提供や「利用者本位」の事業展開を行う

京極町介護予防センター

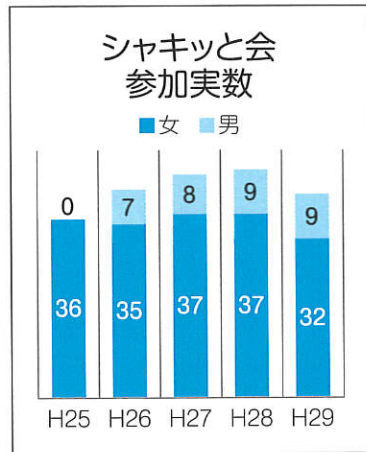
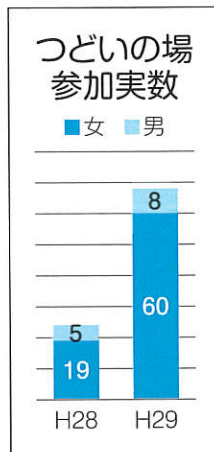
○平成29年度事業報告

① **一般介護予防事業**：住民主体で介護予防に取り組む**つどいの場**が新たに3か所誕生し、町内で活動しているグループは5か所になりました。参加実数は下の表に示した通り24名から68名と大幅に増加しています。**シャキッと会**の参加実数は41名で、つどいの場の充実に伴い若干減少に転じました。

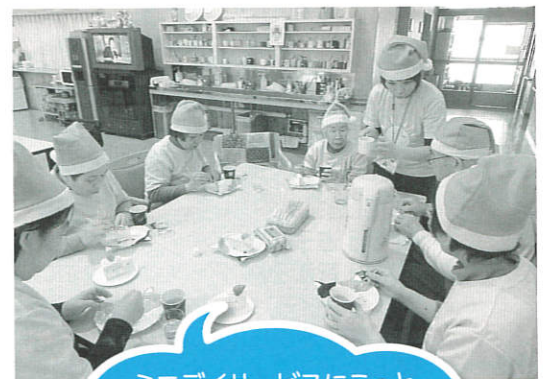
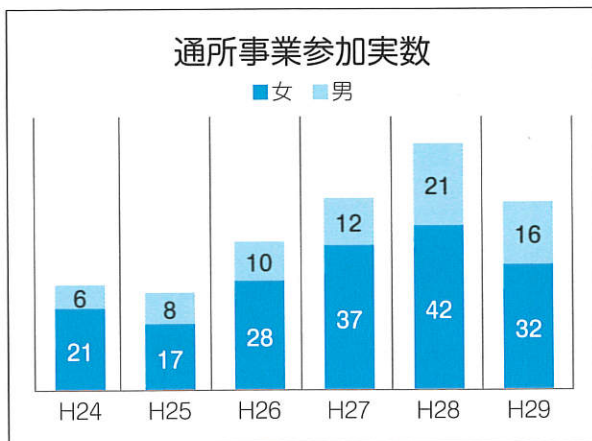
また、町民のみなさんへ介護予防に関する啓発を行うために**こっと通信**を年4回発行し、全戸配布を行いました。11～12月には冬期間の運動不足解消に向けて、体育館2階のトレーニング室の機器の使い方を説明する教室を開催しました。その他に湧水塾や年金友の会などの団体へ向け、介護予防に関する講話や体力測定なども行いました。



地域福祉拠点で実施中のつどいの場
グループ名:ささえあう輪



② **介護予防通所型サービス事業**：要支援相当または通年で運動が必要な方のため**ミニデイサービスにこっと**、運動機能維持・向上のため**筋力アップ教室**(3か月間×1回)、認知機能維持・向上のため**脳力アップ教室**(5か月間×1回)を開催しました。住民主体の取り組みを重要視し、筋力・脳力アップ教室の回数を減らしたため、参加実数は昨年度に比べ減少しています。



ミニデイサービスにこっと
クリスマス会

③ **介護予防訪問型サービス事業**：要支援や事業対象者の方に対し、家事援助に特化した**にこっと訪問サービス**を実施しました。実人数5名、延人数198名で前年度(実人数10名、延人数250名)と比べ減少していますが、新規利用者が1名と少なかったことが原因と考えられます。地域福祉拠点での支えあいステーションの充実に伴い、利用者は減少すると予想しています。

地域福祉拠点 「きょう・ここ」

「きょう・ここ」1年 おめでとう祭りの開催

平成29年4月から京極町に「きょう・ここ」がオープンしてようやく1年が過ぎました。

「1年を記念して、何かイベントをやってみては？」との声で企画されたおめでとう祭りは、多くの方が来場され、住民同士の交流の機会が生まれました。

おめでとう祭りの後、「きょう・ここ」に来てくれる子どもたちが増えたように感じます。

今後も、誰もが立ち寄れる居場所・交流の場所として、「きょう・ここ」が地域の中で育っていくことができれば幸いです。

3月31日(土)に、「きょう・ここ」おめでとう祭りを開催しました! 普段から「きょう・ここ」を使用してくれている方の協力により、唐揚げやパフェなどのフードコーナーや子ども達向けのミニゲームを用意して楽しみました。



「NPO法人きょう・ここ」設立準備

「きょう・ここ」の運営を担う、新団体設立に向けて現在進めています。

メンバーは今年2月～3月に開催した「NPO法人設立勉強会」参加者や昨年から継続して「きょう・ここ」で企画を実現してきた住民の方など約15名程です。さらに、普段「きょう・ここ」を活用している皆さんや、地域の見識のある方からの意見もいただきながら活発に議論中です。7月26日(木)設立総会によって新団体が立ち上がる予定です。

新団体は、地域共生社会の実現に向けて、「きょう・ここ」を中心に活動を展開しています。活動に参画する方、応援してくれる方、大募集しています!! 「きょう・ここ」までご連絡ください。



NPO法人設立という未知の取り組みに、一同日々勉強中です。一般社団法人ウェルビーデザイン理事長の篠原辰二アドバイザーの支援をいただき進めています。

寄付・寄贈に感謝いたします

【期間】3月～5月

【寄贈】 ■菊地 安治郎様 ■笹原 真奈様 ■Mama'café様 ■かねまつ旅館様

【寄付】 「福祉基金へ」

- 持田 道子様より、夫の故 持田 耕様の生前のお礼として
- 真田 智江子様より、夫の故 真田 清美様の生前のお礼として
- 葛西 朋子様より、夫の故 葛西 良紀様の生前のお礼として
- 小浦方 雅尚様より、義理の母の故 福家 テル様の生前のお礼として
- 山崎 雄二様より、父の故 山崎 敏行様の生前のお礼として
- 佐藤 美江子様より、夫の故 佐藤 博様の生前のお礼として
- 遠藤 與吉様より、妻の故 遠藤 イト様の生前のお礼として
- 中村 恒男様より、京極町の福祉のために
- 久保 英雄様より、父の故 久保 照雄様の生前のお礼として
- 向出 高子様より、夫の故 向出 次博様の生前のお礼として
- 笠間 勝子様より、夫の故 笠間 丑美様の生前のお礼として
- 古屋 清子様より、京極町の福祉のために
- 前沢 政次様より、京極町の福祉のために
- 板谷 重子様より、京極町の福祉のために

【未来へつなぐ夢基金へ】

- 笹原 満雄様より、京極町の福祉のために

【共生型地域福祉拠点(きょう・ここ)へ】

- 穴戸 郁子様
- 寺子屋サロン様
- おばちゃん食堂 よってって様
- 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二様
- Mama'café様

